

2025 年 11 月 14 日

各位

会 社 名 フロンティア・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員（ＣＯＯ）西田 明德
 （コード番号：7038 東証プライム市場）
 問合せ先 執行役員 コーポレート推進部長 濱田 寛明
 （TEL：03-6862-5180）

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 2 月 13 日に公表いたしました 2025 年 12 月期（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期通期連結業績予想の修正（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 13,900	百万円 640	百万円 480	百万円 100	円 銭 8.52
今 回 修 正 予 想 (B)	13,080	△350	△600	△870	△73.97
増減額（B－A）	△820	△990	△1,080	△970	－
増 減 率 （ ％ ）	△5.9%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 (2024 年 12 月期)	9,265	△632	△710	△694	△59.20

2. 修正の理由

2025 年 12 月期通期の連結売上高は、今期初に着手した社内構造改革に伴う人員最適化・組織再編の効果による生産性改善に加え、連結投資先である株式会社ホビーリンク・ジャパン他 2 社の損益を当第 2 四半期から連結決算に取り込んだ結果、前年対比で増収を見込む一方、コンサルティング・アドバイザリー事業において人員最適化に伴うシニアメンバーの入れ替え等の影響で売上が想定以上に縮小したことや、M&A アドバイザリー事業において、案件の収益貢献までに時間を要していること等が影響し、期初計画は未達となる見込みです。

利益面につきまして、まず営業利益は、売上高増収の効果により、前年対比で改善を見込んでおりますが、人員最適化に伴う人件費等の固定費圧縮による収益改善効果が限定的であったことを受け、期初計画は未達となる見込みです。

経常利益は、営業利益同様に前年対比で改善を見込んでおりますが、営業外費用として連結子会社 F C I 1 株式会社において、連結投資案件のクロージング時における一時的な支出であるシンジケートローンのアレンジメントフィー等の資金調達費用が生じたことを主たる要因として、期初計画は未達となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失として社内構造改革に伴う事業構造改善費用が生じた

ことを主たる要因として、前年対比で減益となる見込みであり、期初計画は未達となる見込みです。

以上を踏まえ、当期通期の連結売上高予想は前回発表予想から 820 百万円減少して 13,080 百万円、営業利益は 990 百万円減少して 350 百万円の損失、経常利益は 1,080 百万円減少して 600 百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純利益は 970 百万円減少して 870 百万円の損失となる見込みです。

なお、2025 年 12 月期につきましては業績予想を下方修正いたしますが、今後、以下の施策を実行してまいります。

- ① 継続案件に繋がる様なデューデリジェンス・再生支援等の案件開拓
- ② 横展開可能なソリューション開発に向けた投資
- ③ 更なる成長に向けた新規のシニア採用
- ④ 評価・報酬体制の見直し等の人事制度を改訂

上記の取り組みをベースとした中期経営計画を 2026 年 2 月の通期決算発表時の公表を予定しております。

(注) 上記業績予想は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想とは異なる場合があります。

以上